

グリーンピア三陸みやこ仮説住宅におけるヒアリング調査結果

9月7日(水) ゼミ発表

1. 調査概要

- 実施日 …… 7月20日(水)、21日(木)
- 方法 …… 仮設住宅を直接訪問し、1件あたり20分程度のヒアリングを行った。
- 目的 …… 仮設住宅入居者の活動状況や生活の満足度を調べ、今後の生活環境改善や復興まちづくりに関する研究へ活かすこと。

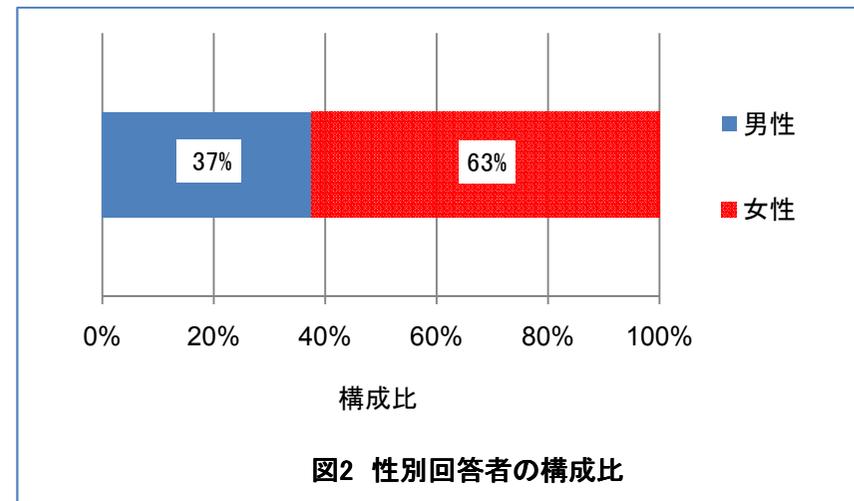
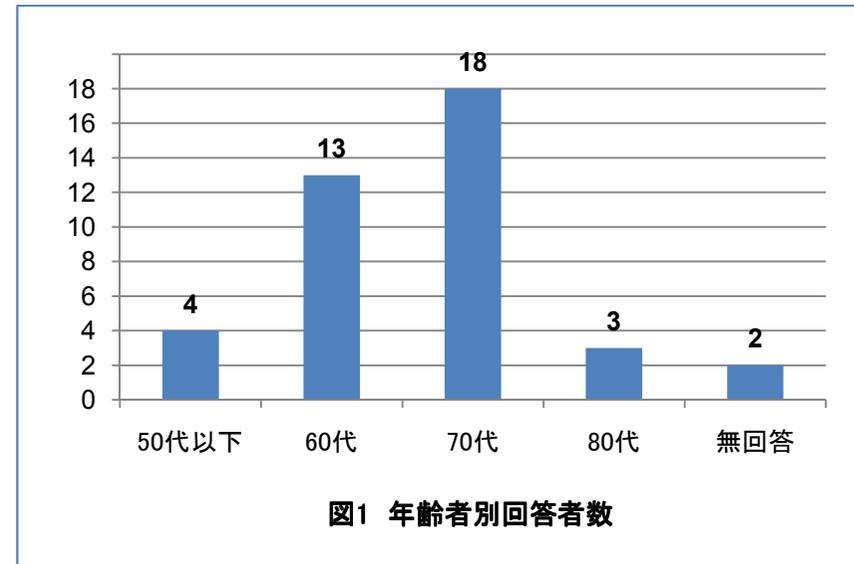
1. 調査概要

- 設問内容

- 1) 自動車の保有状況、歩行可能な距離
- 2) 買い物、通院などの活動状況(行先や交通手段等)
- 3) 衣食住の満足度
- 4) 勉強会や集会の参加意思・条件
- 5) 個人属性

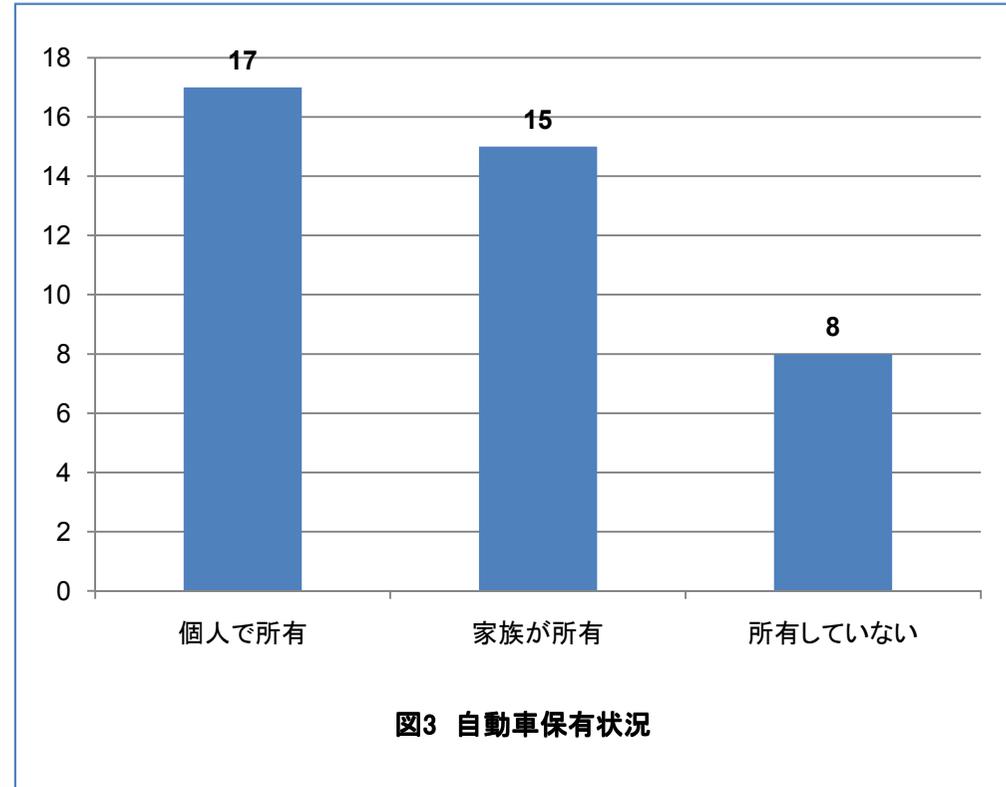
2. 基本集計結果

- 全件数 …… 40件
- 年齢構成 …… 70代が最も多い
(平均年齢68.7歳)
- 性別 …… 女性の方が多い



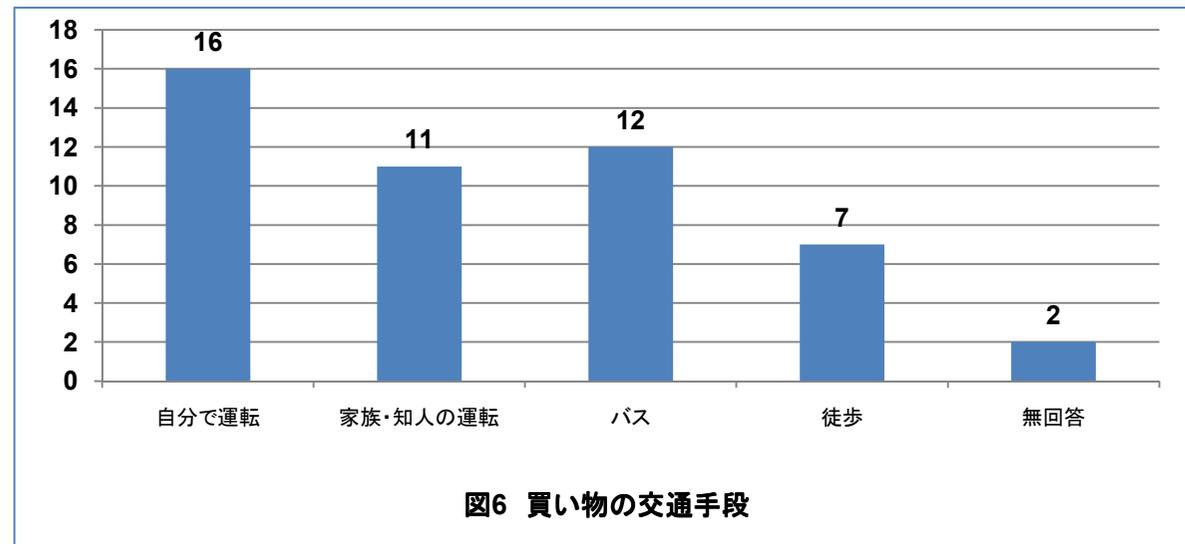
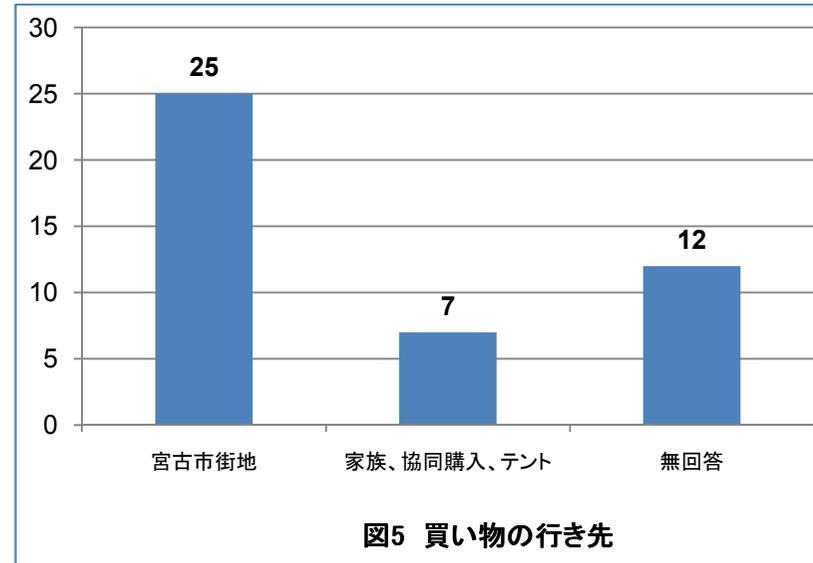
3. 調査結果 自動車保有状況

- 家族での所有を合わせて80%の所有率
- 自分で運転する割合42%
↕
全国平均 50.7%
町村平均 62.2%
(内閣府「高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査」より)

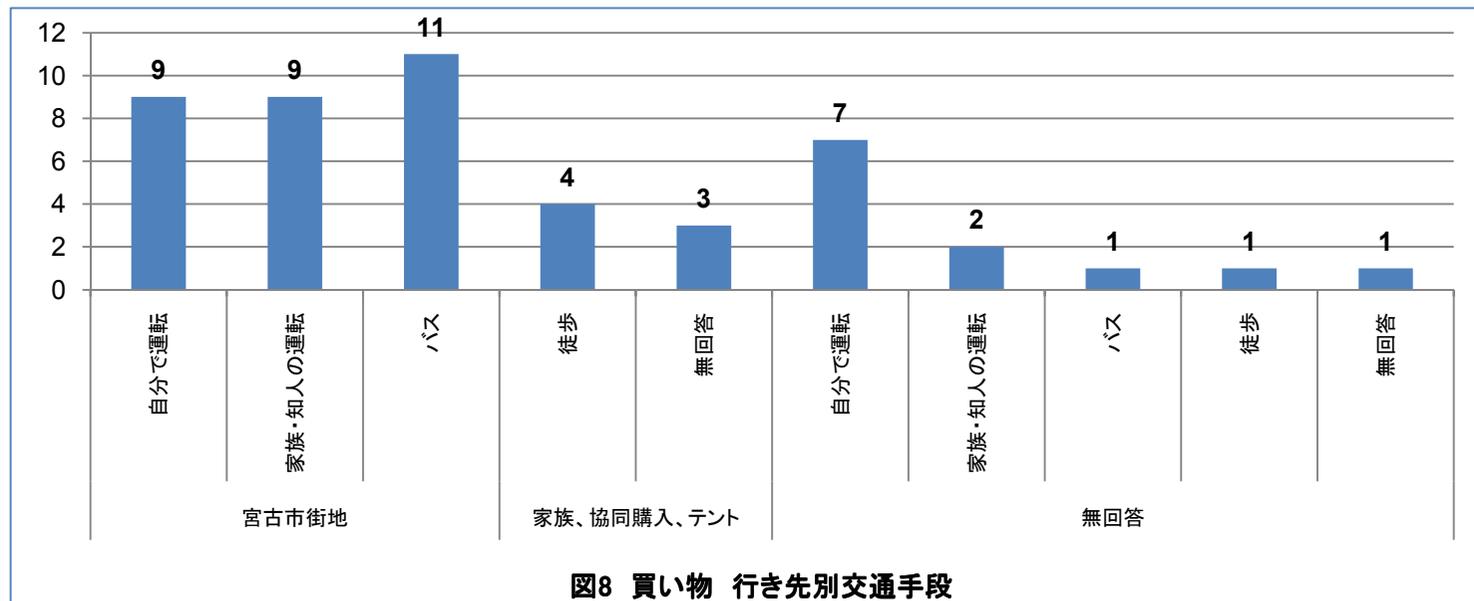
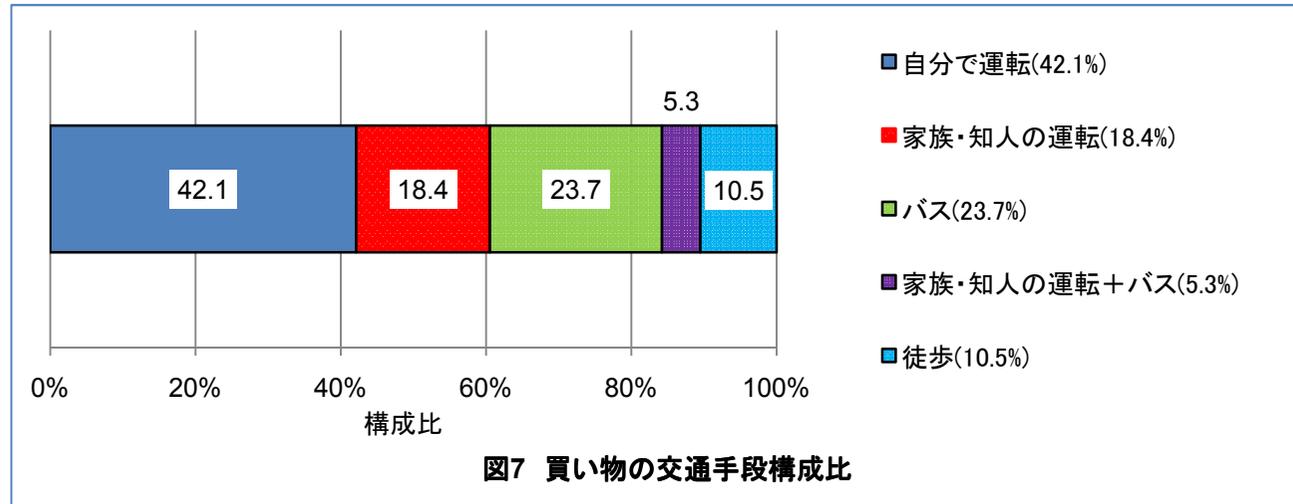


3. 調査結果 買い物活動状況

- 行先は宮古方面が多い
(62.5%の回答)
- 交通手段では
自分で運転する→40%
バスの利用→30%
- バスの役割は大きい

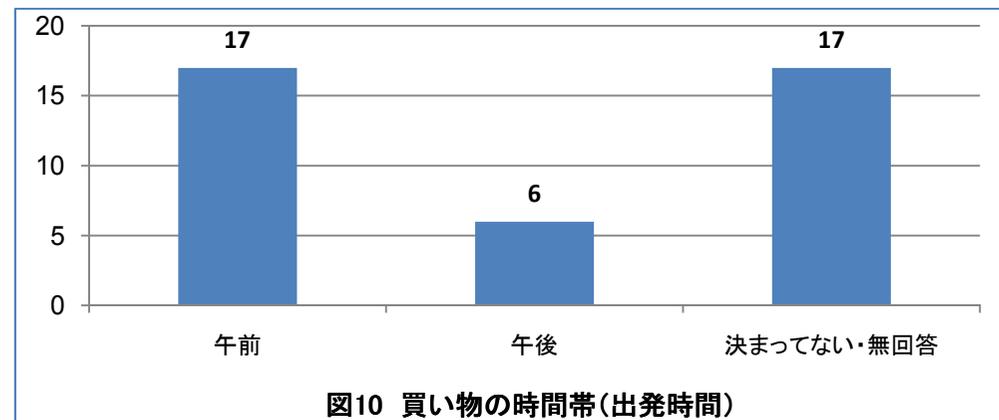
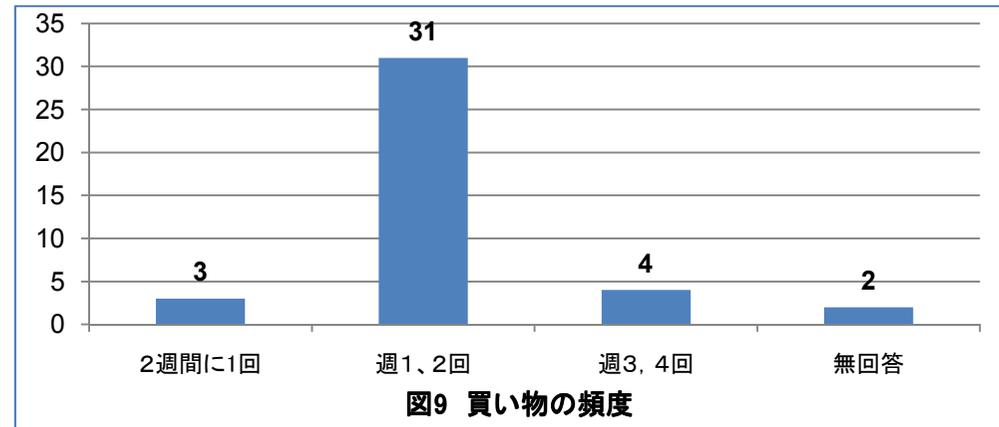


3. 調査結果 買い物の活動状況



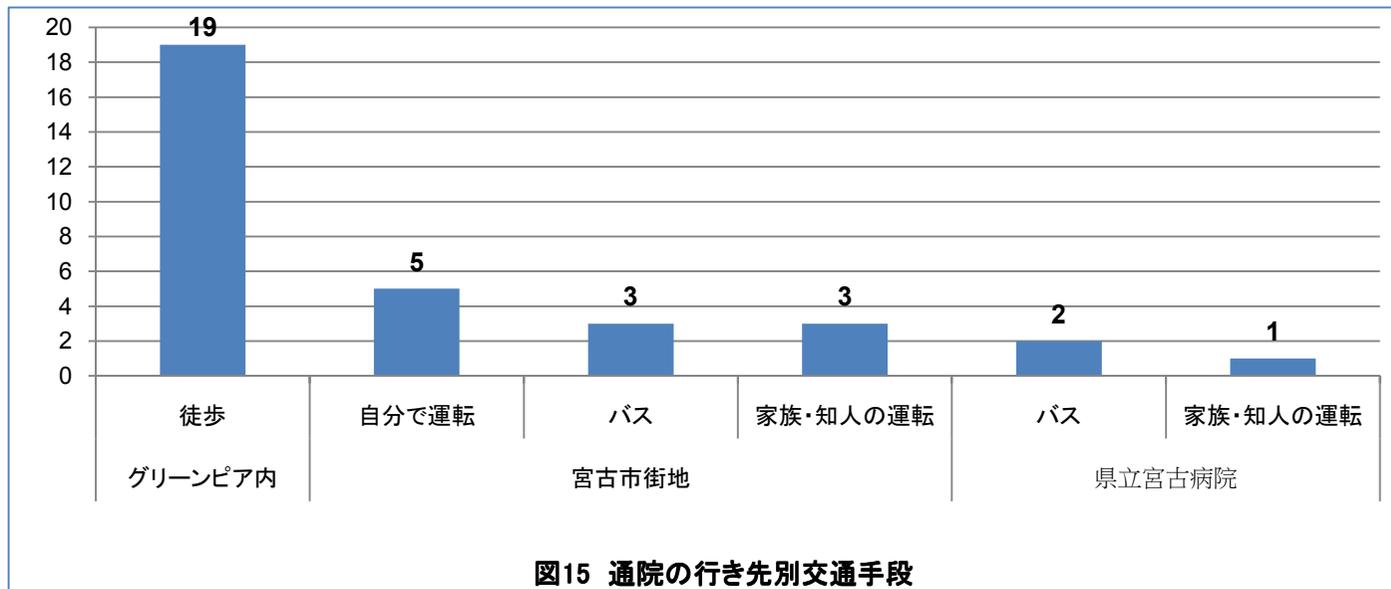
3. 調査結果 買い物の活動状況

- 頻度は週1～2回が最も多い
(77.5%)
- 時間帯は午前中が最も多い
(42.5%)
- 購入するものは主に食料品
- 買い物に不便を感じている人は少なかった



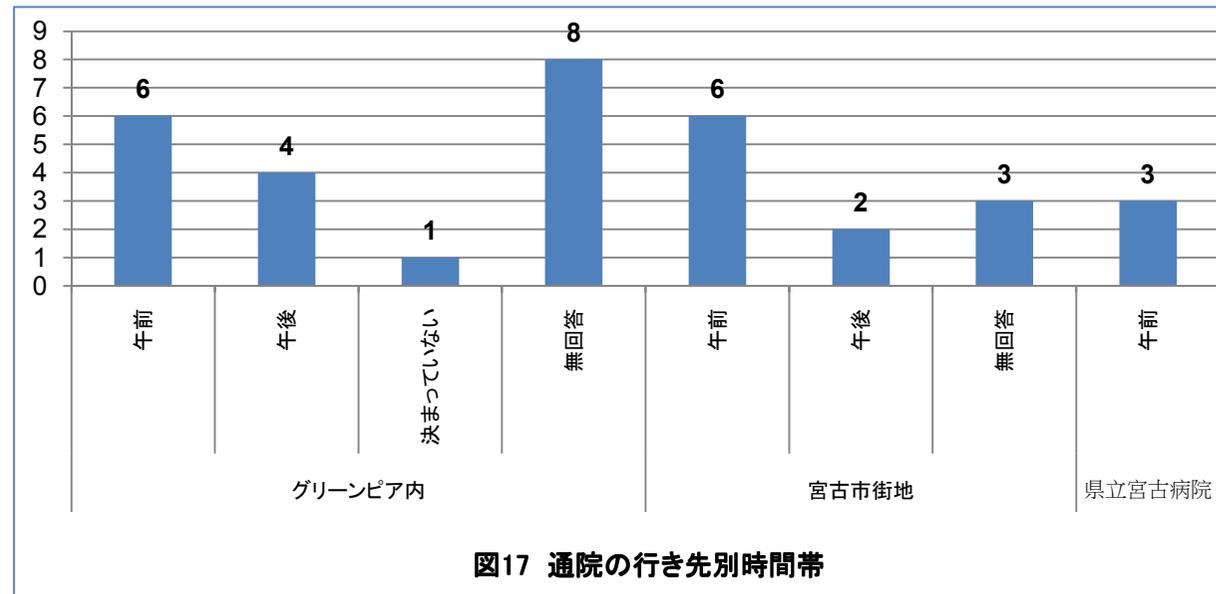
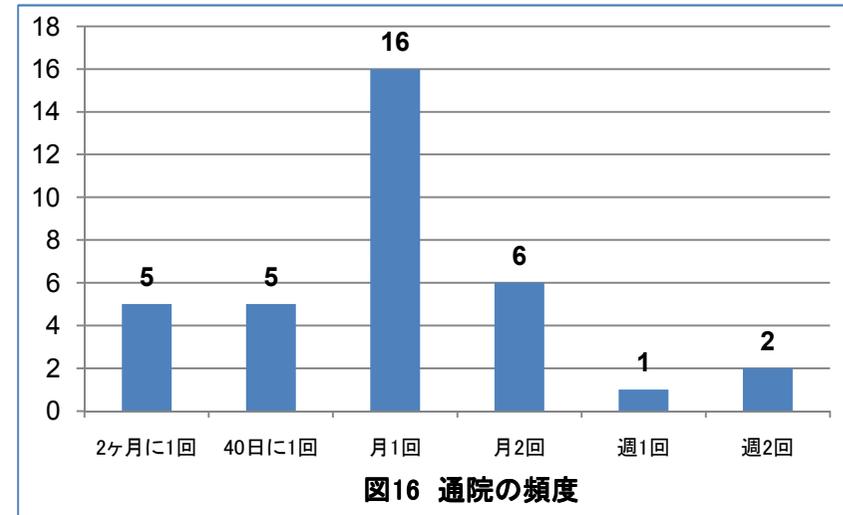
3. 調査結果 通院の活動状況

- 47.5%の方がグリーンピア内の診療所へ通院
- 宮古市街地への通院は27.5%



3. 調査結果 通院の活動状況

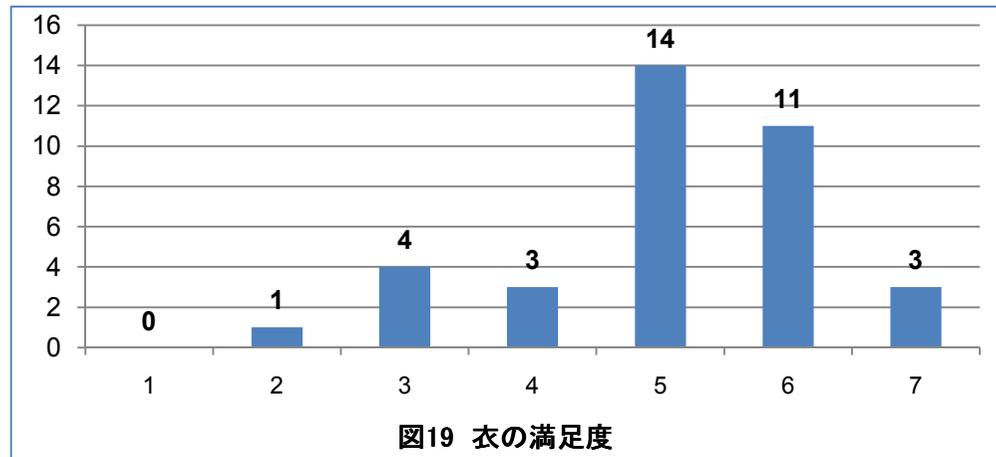
- 通院の頻度は月に1回という回答が多かった(45.7%)
- 時間帯は午前中の回答が多かった(37.5%)



3. 調査結果 衣食住の満足度 衣・食

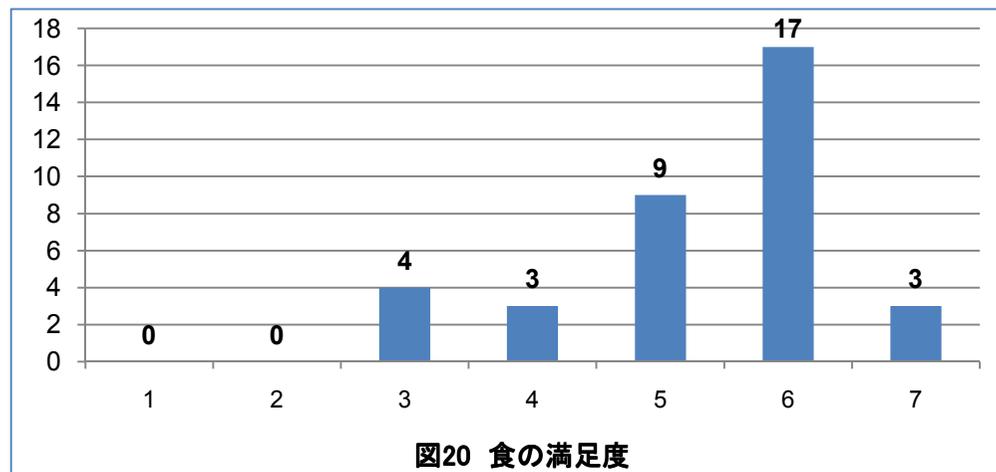
衣

- 5と6の回答が目立つ
(69.4%)
- 平均値は5.08



食

- 6の回答が多い(47.2%)
- 平均値は5.33

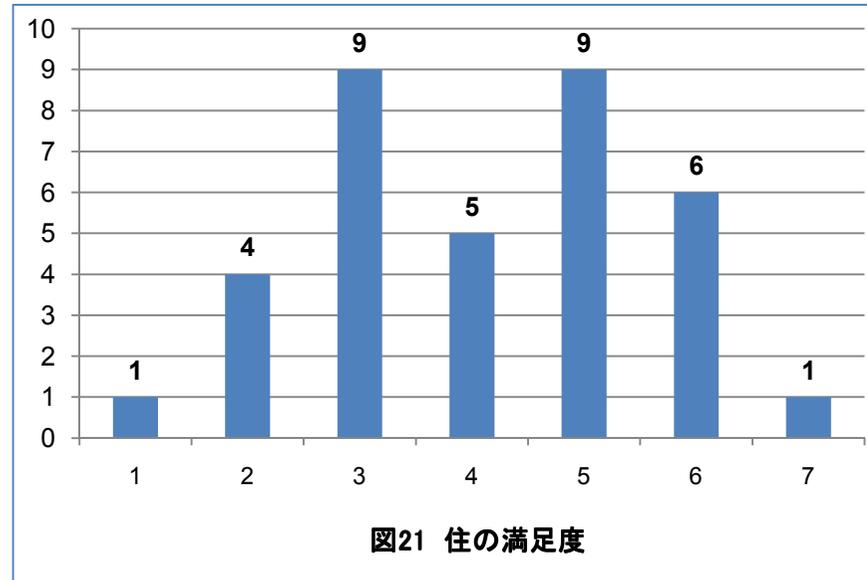


とても不満 … どちらでもない … とても満足

3. 調査結果 衣食住の満足度 住

住

- 衣、食に比べると満足度が低い
- 平均値は4.11



- 仮設住宅の設備に関する不満
- 冬場の心配
(寒さ、除雪など)

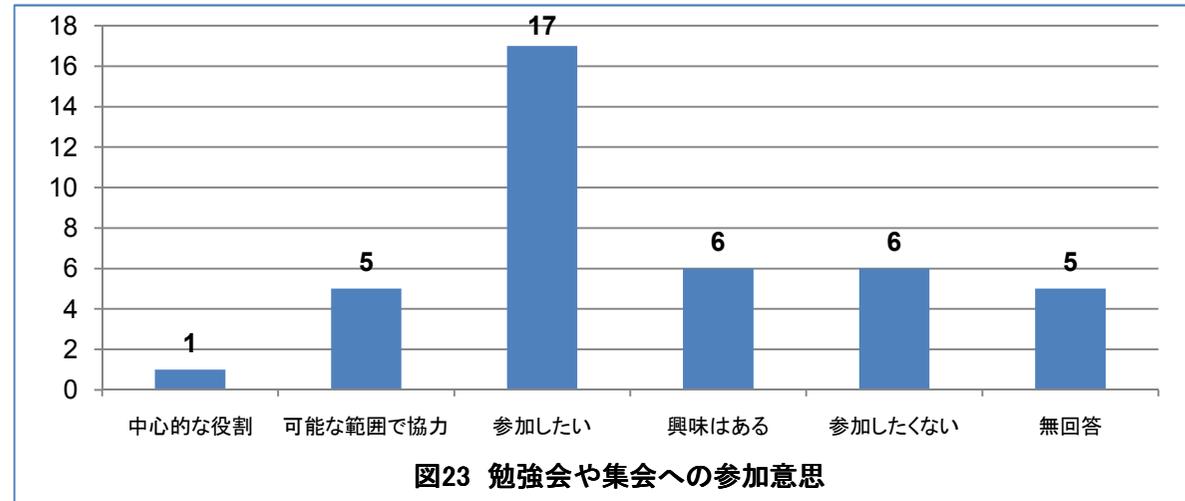
挙げられた意見

- 屋根が短い
- 結露がひどい
- 暑い
- 砂利道を舗装して欲しい
- 冬場の寒さ,除雪が不安
- 畳が欲しい

3. 調査結果 勉強会・集会の参加意思・条件

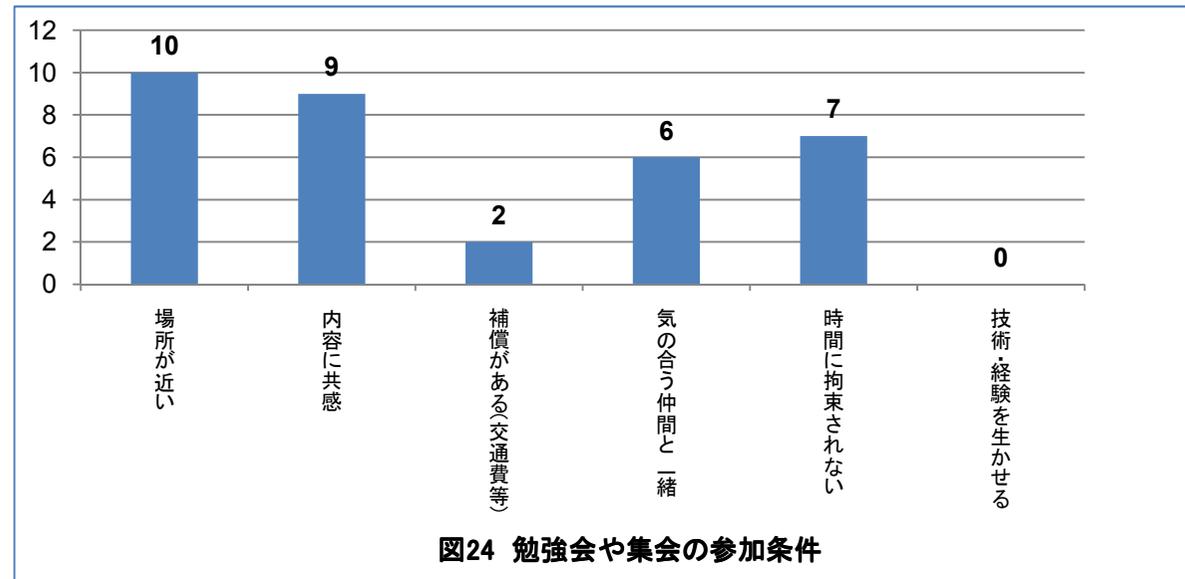
参加意思

- 参加意思 → 57.5%
- 興味はある含むと70%
→ 7割の方が関心を持つ



条件

- 内容に共感
- 場所が近い
- 時間に拘束されない
→ 内容の他に、参加のしやすさも重要なポイント



自由記述集

得られた記述回答を設問ごとにまとめた。

問2-1. 活動状況—買い物

- ・生ものが食べたい
- ・肉、魚、卵が食べたい
- ・トイレットペーパーが買いたい
- ・日用品が買いたい

問2-3. 活動状況—交流・社会的つながり

- ・集まる場所が無い
- ・人がもっと増えれば

問5-1. 衣の満足度

- ・救援物資でたくさんもらった
- ・普段着があるが、スーツ等が無い
- ・暑さ、寒さへの対応難しい
- ・家族に送ってもらっている
- ・欲を言えば欲しい
- ・あまり無いが我慢している

問5-2. 食の満足度

- ・避難所から仮設住宅に移り、各自で用意しなくてはならない
- ・知り合いや親戚から食料品を貰っている
- ・地震が起こる前の通常の食事に近づいてきた

問5-3. 住の満足度

- ・狭い
- ・暑い
- ・寒さが心配
- ・冬の除雪どうするか
- ・結露がひどい
- ・曇りが欲しい
- ・玄関の屋根が短い（雨が入る）
- ・住めるだけよい
- ・一人暮らしが寂しい
- ・十分な設備
- ・砂利道を舗装して欲しい（散歩したい、押し車を使えない）
- ・欲は出せない
- ・わがままばかり言えない

問6-4. まちづくりに向けた話し合い・住民組織への参加・協力

- ・行政や専門家に任せる
- ・話を聞くだけでも参加したい
- ・若い世代に任せたい
- ・参加して意見も言えたら言いたい
- ・みんなが発言できる場が欲しい
- ・今後も田老に住みたい
- ・現状報告が欲しい
- ・掲示板や防災無線欲しい